

## ふじみ野市 GIGA スクール構想

○1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする児童生徒を含め、**多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する**  
○これまで積み上げてきた教育実践と最先端の ICT 環境との融合を図り、**教師・児童生徒の力を最大限に引き出す**

## 子供たちの生活をより良くするための「情報モラル教育」

- 必要性**：学習指導要領総則において「情報モラル」を身に付けるよう指導することを明示。  
**背景**：インターネット上での誹謗中傷やいじめ、犯罪や違法・有害情報などの問題が発生。情報社会に積極的に参画する態度を育てることが今後ますます重要。  
**目標**：情報手段をいかに上手に賢く使って行くか。そのための判断力や心構えを身に付ける。情報社会の特性の一側面である影の部分を理解する。

全ての児童生徒に情報モラルを身に付ける指導が必要

情報モラルの指導は  
すべての教員が行う

### <情報モラル教育の2領域5分野の内容>

#### 情報社会の倫理

★情報に関する自他の権利を尊重して責任ある行動を取る態度

#### 法の理解と遵守

★情報社会におけるルールやマナー、法律があることを理解し、それらを守ろうとする態度

心を磨く領域

#### 公共的なネットワーク社会の構築

★情報社会の一員として公共的な意識をもち、適切な判断や行動を取る態度

知恵を磨く領域

#### 安全への知恵

★情報社会の危険から身を守り、危険を予測し、被害を予防する知識や態度

#### 情報セキュリティ

★生活の中で必要となる情報セキュリティの基本的な考え方、情報セキュリティを確保するための対策・対応についての知識

### 情報モラル教育を進める4つのステップ

#### STEP1

#### 子供たちの実態の把握や整理

「教師の観察」や「アンケート結果」などから子供たちの実態を把握する。

#### STEP2

#### 指導計画の作成

子供たちの実態を踏まえて、年間指導計画の作成や見直しをする。

#### STEP3

#### 指導方法の検討

授業や集会等さまざまな場面での具体的な指導を検討する。

#### STEP4

#### 実際の指導と評価

実際に指導を行い、その結果を今後の指導に生かす。

事例で学ぶ  
**Netモラル**

を活用しながら、しないほうがよいことだけでなく、今後どのように使っていくことが大切なのかを話し合い、子供が気付くように学習展開する。

